

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : ジンクスプレー Pro シルバー  
種類 : 1 液型エポキシ系ジンクリッチペイント (エアゾール製品)  
製造会社 :  
会社名 : サンデーペイント株式会社  
住所 : 〒554-0012 大阪市此花区西九条6丁目1番124号  
担当部門 : お客様相談室長  
電話番号 : 06-6466-6700  
FAX番号 : 06-6466-2751  
用途 : 主に屋外、屋内の金属製品用  
作成日 : 2015年1月7日  
改訂日 :

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

可燃性 / 引火性エアゾール : 区分2  
引火性液体 : 区分1

### GHSラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



### 注意喚起語

危険

### 危険有害性情報

極めて可燃性 / 引火性の高いエアゾール  
引火性の高い液体および蒸気。  
水に触れると可燃性 / 引火性ガスを発生。  
飲み込むと有害のおそれ。  
吸入すると有害。  
皮膚刺激。  
重篤な眼への刺激。  
遺伝子疾患のおそれ。  
発がんのおそれの疑い。  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ。  
臓器への障害。  
長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害。  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
水生生物に毒性。  
長期的影響により水生生物に有害。

### 注意書き

#### 安全対策

使用前に取扱説明書を理解して、取扱って下さい。  
容器を密閉して下さい。  
熱 / 火花 / 炎 / 高温のもののような着火源から遠ざけて下さい。  
湿気を遮断し、不活性ガスの下で取扱って下さい。  
防爆型の電気機器 / 換気装置 / 照明機器を使用して下さい。  
火花を発生しない工具を使用して下さい。  
水を消火に使用しない。  
静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。  
適切な保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面 / 保護衣を着用して下さい。  
粉塵 / ガス / 蒸気 / スプレー等を吸入しないで下さい。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用して下さい。

必要なとき以外は、環境への放出を避けて下さい。  
この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないで下さい。  
必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。  
取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。

## 応急措置

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。  
皮膚や髪についた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いて下さい。皮膚を流水かシャワーで洗って下さい。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗って下さい。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。  
皮膚についた場合、大量の水と石鹸で洗って下さい。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けて下さい。  
直ちに全ての汚染された衣類を脱いで下さい / 取り除いて下さい。再使用する場合には洗濯して下さい。  
暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡して下さい  
緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。

## 保管

乾燥した場所または密閉容器に保管して下さい。  
よくフタをし、0 ~ 40 の屋内で貯蔵して下さい。  
日光から遮断し、換気の良い場所で保管して下さい。  
50 以上の温度に暴露しないで下さい。  
施錠して子供の手の届かない所に保管して下さい。

## 廃棄

内容物 / 容器を廃棄するときには、国 / 地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質 / 混合物の区分	: 混合物
化学名または一般名	: 情報なし
化学特性(化学式等)	: 情報なし
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
成分	:

成分名	CAS	含有量 (%)	安衛法 通知物質	毒劇 法	PRTR法・備考
亜鉛	7440-66-6	30.0 ~ 40.0			
トルエン	108-88-3	14.9		1種-300	
キシレン	1330-20-7	6.3		1種-80	
エチルベンゼン	100-41-4	1.2		1種-53	
水素処理脱硫重質ナフサ	64742-82-1	1.0 ~ 10.0			
低沸点芳香族ナフサ	64742-95-6	1.0 ~ 10.0			
ジメチルエーテル	115-10-6	30.0 ~ 40.0			可燃性ガス

## 4. 応急措置

### 吸入した場合

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。  
呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。  
嘔吐物は飲み込ませないようにする。  
直ちに医師の診断を受ける。  
蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

### 皮膚に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。  
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。  
外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

### 眼に入った場合

直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
できるだけ早く医師の診察を受けること。  
直ちに、医師に連絡すること。

### 飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物は飲み込ませないこと。

### 応急措置をする者の保護

救急者は、保護具を着用する(暴露防止措置の注意事項を参照)

### 医師に対する特別注意事項

直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又は(M)SDSを示す。

---

## 5. 火災時の措置

---

消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤 : 水(棒状水、高圧水)

特有の消火方法、消火を行うものの保護

水を消火に用いてはならない。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。

状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、マスク等)を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。

消火活動は風上より行う。

---

## 6. 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

---

### 環境に対する注意事項

漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。エリアを洗い、配水管への流入を防ぐ。

---

### 封じ込め及び浄化の方法 / 機材

すべての着火源を取り除く。

喫煙、裸火または発火源は禁止。

スパークしないシャベル及び防爆装置だけを使用する。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。

大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。

流出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

#### 技術的対策

作業環境を許容濃度以下に保つ。

吸入、接触を避ける。

曝露の危険性が生じる場合には防護具を着用する。

よく換気された場所で使用する。

喫煙、裸火、熱または発火源を避ける。

取扱い時には、飲食または喫煙をしないこと。

取り扱う場合、スパークしない道具を使用する。

蒸気は、静電気によりポンプ中または注入中に着荷する可能性がある。

不適合物質との接触を避ける。

取扱い後は、常に石鹼水で洗浄する。

作業衣は、別々に洗濯するべきである。

正しい作業実績法を定め遵守する。

物質で濡れた衣類が浸透し皮膚に接触することは避ける。

---

#### 注意事項

取扱いは換気のよい場所で行う。

健康に有害な物質を含んでおり、吸入すると有機溶剤中毒を起こすことがあるので、取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装、乾燥中ともに換気をよくし蒸気を吸い込まないようにすること。

使用済みウエス、塗料かす、スプレーダクト等は廃棄するまで不燃性の容器に蓋をして保管すること。

取り扱い中は皮膚に触れないようにし、簡易マスク、作業帽、保護眼鏡、長袖の作業着、襟巻きタオル、保護手袋などを着用すること  
換気の悪い場所で作業を行う場合は有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを着用すること。

取扱い後は作業着に付着した汚れを良く落とし、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を外観に変化がある時は医師の診断を受けること。

本来の用途以外に使用しないこと。

指定された以外の材料に混合しないこと。

過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

---

#### 保管

よく蓋をし、風通しのよい、40℃以下の一定の場所を定めて保管する。

日光の直射を避ける。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

子供の手の届かない場所に保管する。

---

## 8. 曝露防止及び保護措置

---

## 設備対策

- 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るような設備とすること。
- 取扱い場所の近くには、高温、発火源、となるものが置かれなような設備とすること。
- 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機などを使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備にすること。(第2種有機溶剤)
- タンク内部などの密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。(第3種有機溶剤)

## 管理濃度 / 許容濃度

化学物質名	暴露管理基準 ppm	暴露管理基準 mg/m3	skin
トルエン	20		
キシレン	50		
エチルベンゼン	20		
化学物質名	日本産業衛生学会 ppm	日本産業衛生学会 mg/m3	skin
キシレン	50		
エチルベンゼン	50	217	
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m3	skin
トルエン	50	180	
キシレン	100	434	
エチルベンゼン	20		
化学物質名	IARC		
トルエン	3		
キシレン	3		
エチルベンゼン	2B		

## 保護具

### 呼吸器の保護具

- 有機ガス防毒マスクを着用する。
- 密閉された場所では送気マスクを着用する。

### 手の保護具

- 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の手袋を着用する。

### 目の保護具

- 取扱いには保護メガネを着用すること。

### 皮膚及び身体の保護具

- 取扱い場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類をつけること。また化学用品が浸透しない材質であることが望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状態(20 )	: 液体		
色	: シルバーグレー		
臭い	: 溶剤臭あり		
pH	: [噴射剤] 情報なし	[塗料]	情報なし
融点 / 凝固点	: [噴射剤] 情報なし	[塗料]	情報なし
沸点、初留点、沸騰範囲	: [噴射剤] -24.8	[塗料]	116 ~
引火点	: [噴射剤] -41.4	[塗料]	11
自然発火温度(発火点)	: [噴射剤] 350	[塗料]	480
燃焼性(固体・ガス)	: [噴射剤] 情報なし	[塗料]	情報なし
燃焼または爆発範囲の上限 / 下限	: [噴射剤] 27.0/3.4 vol %	[塗料]	7 / 1.27 vol %
蒸気圧 Pa ( )	: [噴射剤] 257230 (0)	[塗料]	4893 ( 30 )
蒸気密度	: [噴射剤] 情報なし	[塗料]	情報なし
蒸気速度	: [噴射剤] 情報なし	[塗料]	情報なし
比重(相対密度)	: [噴射剤] 0.67	[塗料]	情報なし

### 溶解度

水に対する溶解度	: 情報なし
水に対する溶解性	: 情報なし
溶媒に対する溶解度	: 情報なし
溶媒に対する溶解性	: 情報なし
オクタノール / 水分配係数	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
その他	: 液化ガス含有 ( 39.5 % 重量比 )

## 10. 安定性および反応性

### 接触により危険性のある物質

酸化剤(酸化反応により発火の危険性有り)  
水、酸(接触により反応して水素を発生し爆発の危険性有り)

### 燃焼等により危険性のある物質

NO<sub>x</sub>、CO、その他低分子モノマーなど

### その他の反応性情報

知見なし

### その他の危険性情報

特になし

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

亜鉛	: LD50 (経口)		
	LD50 (経皮)		
	LC50 (蒸気)		
	LC50 (粉塵/ミスト)		
トルエン	: LD50 (経口)	=5000mg/kg(4h)	
	LD50 (経皮)	12000mg/kg(4h)	
	LC50 (蒸気)	7460ppm(4h)	
	LC50 (粉塵/ミスト)		
キシレン	: LD50 (経口)	4300mg/kg(4h)	
	LD50 (経皮)	>4350mg/kg(4h)	
	LC50 (蒸気)	6700ppm(4h)	
	LC50 (粉塵/ミスト)		
エチルベンゼン	: LD50 (経口)	3500mg/kg(4h)	
	LD50 (経皮)	15400mg/kg(4h)	
	LC50 (蒸気)	4000ppm(4h)	
	LD50 (経口)		
水素処理脱硫重質ナフサ	: LD50 (経口)		
	LD50 (経皮)		
	LC50 (蒸気)		
	LC50 (粉塵/ミスト)		
低沸点芳香族ナフサ	: LD50 (経口)	ラット	8400mg/kg(4h)
	LD50 (経皮)		
	LC50 (蒸気)		
	LC50 (粉塵/ミスト)		
ジメチルエーテル	: LD50 (経口)		
	LD50 (経皮)		
	LC50 (蒸気)		
	LC50 (粉塵/ミスト)		

### 製品に対する有害性情報

製品としての安全性試験は行っていない。

## 12. 環境影響情報

漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。

## 13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  
(水質汚濁防止法で排出基準がZn2mg/L以下と定められている)  
容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。  
廃棄物等の焼却処理をする場合には、有毒ガス等を発生するため、洗浄装置のない焼却炉は使用しないこと。

## 14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

運搬に際しては容器を40以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う

国連番号 : 1950 区分番号 : 2.1(液化ガス)

### 陸上輸送

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

---

### 海上輸送

船舶安全法に定めるところに従うこと。

---

### 航空輸送

航空法に定めるところに従うこと。

---

指針番号 : 126

---

## 15. 適用法令

---

### 消防法

危険物 第4類 第1石油類 非水溶性 危険等級

---

### 労働安全衛生法

危険物 (引火性物質、可燃性ガス)

施行令 別表 1 - 4 引火性のも

57条の2 通知対象物質

特定化学物質等障害予防規則 第2類 特別有機溶剤等

有機溶剤予防規則 第2種有機溶剤等

---

### 高压ガス保安法

液化ガス、可燃性ガス (但し、エアゾールは除外されている)

---

### 船舶安全法

危険物 (高压ガス)

---

### 航空法

高压ガス

---

### 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

---

### 化学物質管理促進法

第1種

---

## 16. その他の情報

---

### 引用文献

日本塗料工業会編集 『原料物質データベース』

日本塗料工業会編集 : 製品安全データシート・ガイドブック (混合物用)

オーム社 : 溶剤ポケットブック

危険物防災救急便覧

国際化学物質安全カード (ICSC)

---

### その他

このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。

記載内容は現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は必ずしも十分なものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

このSDSは、法令の改正、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。

危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」を示しています。

PRTR該当物質については1、2種は1%以上、特定1種は0.1%以上の場合に対象となります。

2種については国(事業所管大臣)への報告は不要です。